

# 【連携課題】寝屋川市萱島地域×建築設計学科1年 —萱島地域への私たちの街づくり提案—

OCT Department of Architectural Design

AD

07

## 「まち」のリサーチと提案

建築設計学科 × 建築設計1 - 設計課題1

**課題目的** 第7課題は、「まち」の調査し、そのまちに、今後のまちづくりに役立つ提案をするものです。

**課題条件**

◆「まち」へのリサーチ・提案の前に、 —「都市」と「まち」—  
私達が普段何気なく使う「都市」「まち」という言葉からイメージされるものは、どのようなものなのでしょうか。「都市」という言葉からは、立ち並ぶ高層ビル・輝く繁華街・複雑な交通網などをイメージしたり、一方「まち」という言葉からは、郊外の駅前を中心とした緑地帯、住居の住宅、小学校や公民館、大型スーパーなどが集まる賑やかな集まる街をイメージする人が多いかもしれません。しかし、人によって文脈によって、これらの言葉の意味やイメージは異なることも容易に想像できます。これまでの課題と同様、良く知っている言葉ほど、「この言葉はここではどのような意味で使われているのか？」ということに気をつけてください。「まち」もそうした言葉です。ここでは、限られた地域に人口が集中している領域のことを一先ず「まち」と考えみてみてください。その「まち」について、どのように向き合い、何を考えればいいのか？また、建築人として、どのように関われるか、関わるべきかを考えてみてください。まずは、日本における「まち」に関するしくみや状況を知っておいてください。

大阪府寝屋川市萱島地区を対象に調査・分析をし、まちの活性化という視点から、まちへの提案を導いてもらいます。

左図でも見たように、まちについては、行政からトップダウンの「都市計画」と市民からボトムアップの「まちづくり」というタームと概念が密にこの領域にはあります。また、その間をまちづくり集約やコミュニティデザインなどで調整する動きもみられ複雑な境界があるものでもありません。運動としての「まちづくり」は、「空間づくり」「環境づくり」「ルールづくり」「イベントづくり」「生産づくり」「人づくり」などに整理され、形式化・イデオロギー化の傾向も見受けられます。そうしたフレームを整理しながらも相対化し、しっかりとした調査・分析に基づきリアリティのある企画・提案を行って下さい。調査・分析に基づきリアリティの無い提案は空想以外のにもありません。ただし、建築人として、モノとしての提案にこだわらなくてもいいことを期待しています。しかし、その際も「建築的思考」は其の要になります。もっと言えばその前提があるからこそ、建築人として提案の意味があることとされてはいけません。

「まち」に関わるには、これまでの「都市計画」や「まちづくり」について知っておくことも大切です。これらの言葉は、多様な意味で使われますが、一定のタームとしてある程度の精確性はあります。まずは概観してください。

- 01.対象地とその周辺を調査し、「まち」の全体像やリアルをつかみます。
- 02.その調査から得たものを調査・分析し、可能性や価値のある問題設定・価値付けを行います。
- 03.疑問への回答・価値の再構築を通して「まち」への提案を行います。

	都市計画	まちづくり
主体	国、自治体政府	市民、住民、生活者
ペクトル	トップダウン	ボトムアップ
行策	権威的計画推進	連携調整の運動
領域	人暮らし生活のための物理的課題（死地）	豊かで文化的で美しい生活のあり方（生活）
具体的領域	法定都市計画（土地利用、都市施設、市街地形成等）	健康、環境、産業、教育、コミュニティ形成 例：自治体発案による「環境づくり」「健康づくり」「ふるさとづくり」「イベントづくり」「産業づくり」「防災づくり」(町単一)
構造	統一的、連続的	多層的、断片的
注目すべき歴史	戦後の都市計画制度史	1980年の地区計画制度導入以降の「まちづくり」
都市計画制度（法、条例等）	都市計画法、マスタープラン	まちづくり基本条例、住民参加条例等
新しい「公共」	[都市計画]に補完する形で市民が主体的に関与して進めようとする「まち」づくりを、その力が建築人に期待する。また自治体は「まちづくり」を進めるのではなく、新しい形の「公共」は、従来の自治体で多様な活動を中心とした地域の活性化や経済に効果的であることで実現することを目指す。[まちづくり]は、市民の力で進めようとする。[まちづくり]は、市民の力で進めようとする。[まちづくり]は、市民の力で進めようとする。	



- 調査に必要なもの
- 白地図：1/25,000、その他地図
  - 写真、スケッチブック
  - コンプパス
  - ロットレベ（地図に重ねて使う）
  - ロテリカメ
  - 肉厚な定尺・魚のペン
  - 白紙用紙
- メモ



寝屋川市より表彰



校友会より祝意として雑誌を贈呈



受賞者（当日1名が欠席）